



1. 機 械 加 工 場

り、昭和10年ころには全機種の国産化が可能になった。本工業は昭和29・9月現在50社53工場、従業員は約4,800人で、京浜地方および京阪神地方の重工業地帯に多く集中しているが、規模も小さく、資本金1億円以上のものは、主として鉄道車両

工業または他工業との兼業で、2,3の会社を除いては大部分中小企業である。代表メーカーをあげると、株式会社京三製作所（資本金1億円、従業員約730人）および日本信号株式会社（資本金7,000万円、従業員約650人）である。

第1表 鉄道信号保安装置生産実績

(単位千円)

種別	年			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	需要先								
機械信号	国鉄	鉄		292,280	399,998	344,359	379,569	367,071	382,543
	私鉄	鉄		98,159	72,231	54,590	48,940	49,249	47,185
	輸出			6,546	8,335			5,242	6,015
	計			396,985	480,564	398,949	428,509	421,562	435,743
電気信号	国鉄	鉄		412,211	293,382	480,329	691,809	673,101	800,101
	私鉄	鉄		267,811	231,283	264,466	349,152	352,533	403,324
	輸出			13,402	54,400		1,772	23,266	3,542
	計			693,424	579,065	744,795	1,042,733	1,048,900	1,206,967
分岐器	国鉄	鉄		364,070	265,625	542,699	427,512	499,713	491,231
	私鉄	鉄		309,900	343,023	185,695	195,944	252,457	437,428
	輸出			96,474	85,418	85,956	3,826	83,110	145,272
	計			770,444	694,066	814,350	627,282	835,280	1,073,931
その他	国鉄	鉄		107,417	76,167	50,612			
	私鉄	鉄		34,929	47,149	48,645			
	輸出			457	4,152	808			
	計			142,803	127,468	100,065			
計	国鉄	鉄		1,175,978	1,035,172	1,417,999	1,498,890	1,539,885	1,673,875
	私鉄	鉄		710,799	693,686	553,396	594,036	654,239	887,937
	輸出			116,879	152,305	86,764	5,598	111,618	154,829
	計			2,003,656	1,881,163	2,058,159	2,098,524	2,305,742	2,716,641

注 昭和28年度までは、工事費が含まれている。

また本工業を営んでいる22社によって鉄道信号保安装置協議会を組織し、事業の発展向上のための諸調査および研究を行い、また主務官庁に意見の具申および要望等の業務を行っている。

信号保安装置製造工業の生産品目は大別すると、機械信号用品・電気信号用品および分岐器用品で、その生産比率を過去3箇年間（昭和29～31年）の実績からみると、だいたい機械信号用品18%、電気信号用品47%、分岐器用品35%となっており、また需要先別の納入比率は国鉄66%、私鉄30%、輸出4%となっている。生産実績は別表のとおりであるが、年間平均約20億円程度の生産をみているが、昭和31年度は急激な増加を示している。これは国